

事業報告

令和7年度 公益財団法人黒部市吉田科学館 事業報告（総括）

公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会は、市民の科学知識の普及及び文化の向上に資することを目的として、自然・科学を楽しみながら学ぶ事業を実施しています。

令和7年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の流行はみられるもの、ほとんど以前のような日常が戻ってきたところです。利用者数も各事業ごとに増減はあるものの、全体としては昨年に引き続き回復傾向にあるのではないかと考えています。

また、科学館の質の向上を図るべく、各種研究発表会や会議などへ積極的に参加しました。その成果として、今後の科学館運営に現れてくるものと考えています。

令和7年4月1日付けで学芸員を1名採用しています。専門は古生物です。今後ジオパークと関連した活動に期待するところです。

令和7年度の主な事業として、特別展「さわる地球・宇宙 展」を開催しました。令和6年度の「さわる宇宙 展」の再展示に加えて、地球の特徴的な地形から黒部の地形までを触れられるように展示し、地球から宇宙までをシームレスにつなぐ展示としました。また引き続き、視覚障害関係の団体や専門家と協力し、目の不自由な方でも触って楽しめる展示を目指し実施しました。3Dプリンターで作成した惑星やブラックホールなどの展示や、点字による説明も付けました。

目の不自由な方々にはもちろん、晴眼者にとってもわかりやすい展示としたところです。

企画展としては、鉱物展「石ころを読む」を実施しました。下坂コレクションを活用しながら、アスファルトなどの生活に密着したものから、十字石やジルコン、化石といった様々な“石ころ”にまつわる展示としました。特別展と同様に、ハンズオン型の五感に訴える展示としました。

プラネタリウムでは、オリジナルプラネタリウム番組「ふれて、みて、感じる宇宙」を制作しました。星座や宇宙の触図をさわりながら観覧できる、体験型の字幕付きプラネタリウムです。目や耳の不自由な方にも楽しんでいただける番組としました。

令和7年度実績として、学会・研究集会での発表が12件、講演や講師の派遣が8件ありました。引き続き、積極的に取り組んでいきます。

全ての事業を合わせた延べ利用者数は51,113名（前年度比110.6%）、来館者数は24,348名（前年度比109.0%）となっております。事業毎の延べ利用者数は増減ありますが、概ね10%程度増加となっております。新型コロナウイルス感染症流行以前の利用者数には及びませんが、少しずつ利用者が増加しています。今後も引き続き科学館らしさを維持しながら、創意工夫、観光や他館との連携等を考慮しながら来館者に満足していただける科学館を目指してまいります。

令和7年度（2025年度）黒部市吉田科学館事業報告

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民※と共につくる
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和7年度（2025年度）の主な事業内容

・ 企画展及び特別展

特別展「さわる！地球・宇宙展」

(7月19日～9月7日)

企画展「石ころを読む」

(11月15日～翌年2月15日)

・ オリジナルプラネタリウム番組

再投映「ウォー太郎と水めぐりの旅 ～大地は生きている！の巻～」

(4月5日～7月13日)

新作「ふれたリウム ふれて、みて、感じる宇宙」

(7月19日～翌年7月12日予定)

再投映「37億5千万年の旅 ～ジルコンじいさんが語る地球の歴史～」

(12月20日～翌年3月28日)

(1) 日常の科学

① 講座体験事業

・ サイエンスショー（常時開催）



「力と運動のふしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日1回、土日祝日2回、毎回15～20分程度）。

今年度は「もののふしぎ」（4月）、「水のふしぎ」（5～8月）、「熱のふしぎ」（9～12月）、「力と運動のふしぎ」（1～3月）の計4つのテーマをもとにサイエンスショーを展開した。実演終了後、詳しく実験内容を聞きに来る参加者の姿がしばしば見受けられた。

・ 団体用工作教室

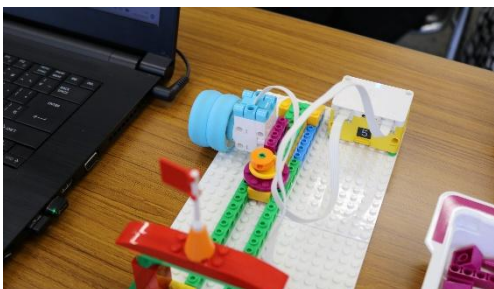


「プラカップごま」と「惑星キーホルダー」

保育園、小学校等の遠足、校外学習のプログラムの一つとして、工作教室を実施した。

今年度は、所要時間20分～40分で8種類の工作から選んでもらい、「惑星キーホルダー」1団体、「もどり車」1団体、「かさ袋ロケット」2団体、「プラカップごま」6団体の計10団体で実施した。対象年齢を考慮した工作の選択肢を用意したことで、子どもたちから完成の達成感を感じられ、喜びの声が聞かれた。

・ プログラミング事業



プログラミングワークショップの様子

CoderDojo 黒部と提携し、月に2回程度「CoderDojo 黒部プログラミングワークショップ」を実施したほか、夏季には3回プログラミング体験教室を実施した。CoderDojo 黒部の常連の参加者は、毎回プログラムを発展させ、複雑なプログラムを書けるようになっているほか、初参加の参加者においても楽しんでプログラムを組む様子が見られた。特に年度の後半では、教室が満員になるほど盛況した日もあり、その後も継続して受講する生徒も多かった。さらに、プラネタリウム番組制作ソフトを用いた教室も開催した。

② 展示事業

・ 児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を 9 月から 10 月にかけて開催した。暮らしを便利にするための工夫をこらした作品や、長年の研究の成果をまとめた研究作品などが展示された。



写真左：第 20 回青少年発
明くふう展
(出品数 107 点)

写真右：第 20 回黒部市小・
中学校児童生徒科
学作品展覧会
(出品数 65 点)

(2) 地域の科学

① プラネタリウムドーム事業

・ 立山黒部ジオパーク映画「剣^{けん}の山」



プラネタリウムでは、立山黒部ジオパーク映画「剣^{けん}の山」を上映している。また、市内全小学校の 6 年生に対し、地元の自然について学ぶ機会を設けるため、学習投映を実施した。上映前にはジオパークについて職員が解説した。児童の学習効果を調査するために、視聴前に回答する事前アンケートと、視聴後 1 か月後に回答する事後アンケートを実施した。今年度においても、多くの児童の回答において、視聴後 1 か月後の時点で、大地の変化や、湧き水のしくみに対する理解度が視聴前より深まっている傾向が見られた。

剣の山学習投映 9 回 児童 309 名 大人 21 名

② 講座・体験事業

・ ジオ&みずはくツアーの実施



写真：ジオ&みずはくツアー
「扇状地のダイナミックな水循環」(6月8日実施)

黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアー」を実施した。本ツアーでは、地域学芸員（市民ガイド）と共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地での水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について体験してもらった。令和 7 年度は、季節やテーマに合わせて全 5 回実施した。自然や文化に関心を持つ参加者が多く、熱心に質問する様子が見られた。

・ ジオパーク体験講座・フィールドウォッチング



写真：ジオパーク体験講座の様子

立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク体験講座」を実施した。生き物、石、雪など、各回で異なるテーマを設定した。自然の観察や遊びを通して参加者に立山黒部ジオパークの自然を体験させた。特に「ヒスイ海岸で化石を探そう」は、予約開始からほぼ 1 日で満員となり、大人から子どもまで多くの参加者が化石探しに没頭した。沿岸で見つかる化石に大きな感動を覚えるとともに、水の流れ（押し流す力）との関連について学ぶ機会にもなった。

③ 調査研究事業

・ 点字つき震度分布図の作成

令和 6 年度能登半島地震の石川県内の震度分布図を、目の不自由な方にもわかるよう点字付きで立体模型として作成し、地形模型と対応させられる展示を作成した。これらの模型は「さわる！地球・宇宙 展」で目の不自由な方からも好評であった。



点字付き震度分布図の展示の様子

・ 来馬層群(朝日町)の化石発掘調査

常設展示及び令和 8 年度の秋の特別展に向けて、中生代の化石資の収集を行った。化石は、境川の河口付近にて来馬層群や手取層群から川の力によって押し流されてきた転石を拾い、ハンマーやタガネで叩き割ることにより見つけている。収集した化石のほとんどは来馬層群(前期ジュラ紀約 1 億 9 0 0 0 万円前)の汽水性の貝類やシダ植物などで、これは当時の気候が温暖で湿潤であったことを示しており、示相化石に関する展示を作成するうえで重要な収集となった。



植物(シダ類)化石



汽水性の貝化石

・ 学会発表

JpGU Meeting (千葉県)、古生物学会 (北海道)、アジア恐竜国際シンポジウム (福井県)、黒部学会 (富山県) に参加し、発表を行った (詳細は「研究実績報告書」に記載)。

(3) 宇宙の科学

① プラネタリウムドーム事業

・ オリジナル番組の制作・投映

新作「ふれたリウム ふれて、みて、感じる宇宙」

投映期間：令和7年7月19日～令和8年7月12日予定

内容：目や耳の不自由な方にも、星空や宇宙の科学にふれていただけるユニバーサルデザインのプラネタリウム番組を投映した。この番組は、触図にふれながら観覧できる体験型の字幕つき番組になっており、星座の形だけでなく、宇宙の広がりや歴史についても知ることができる内容とした。また、夏秋バージョンと冬春バージョンを制作し、一年を通して投映可能な番組とした。

同時開催した特別展「さわる！地球・宇宙展」と併せて見学いただいた視覚障害の子供らの団体からは、触図で星の並びを確認しながら解説を聞くことで、音声だけのプラネタリウムより分かりやすく、これまでにない経験ができて楽しかったとの感想をいただいた。



再投映「ウォー太郎と水めぐりの旅 ～大地は生きている！の巻～」

投映期間：令和7年4月5日～7月13日

内容：令和7年1月から投映を開始したウォー太郎シリーズの3作目を夏休み前まで引き続き投映した。



再投映「37億5千万年の旅 ～ジルコンじいさんが語る地球の歴史～」

投映期間：令和7年12月20日～令和8年3月28日

内容：企画展「石ころを読む」との連携投映として、ジルコンをテーマに制作した番組を再投映した。



・ サブスクリプションの投映番組

幼児や小学生を対象にした子ども向け番組、一般向けの科学番組など幅広い年齢層に合わせた番組を年間5本投映した。

「それいけ！アンパンマン 星空をかえせ」(幼児向け)

期間：令和7年4月5日～令和8年3月29日

内容：子どもたちに人気のアンパンマンのキャラクターたちが四季の星座を紹介する。同時期にTV放映されたNHKドラマの効果もあり、1年を通じて多くの親子連れに見ていただいた。



「プラネタリウム ハクション大魔王 2020 宇宙旅行に出発！の話」

(小学生向け)

期間：令和7年4月5日～8月29日

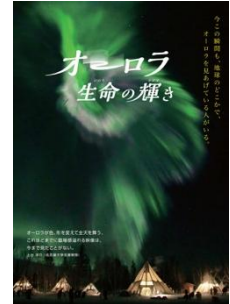
内容：2020年にリメイクされたTVアニメのプラネタリウム版で、宇宙飛行士や身近になってきた宇宙旅行がテーマとなっている。



「オーロラ 生命の輝き」(一般向け)

期間：令和7年4月1日～9月28日

内容：近年、太陽活動の活発化に伴いオーロラが話題となっている。この番組では全天周映像で撮影した臨場感あふれるオーロラを見ることができ、さらにその発生の仕組みを解説している。



「COSMOS ODYSSEY 宇宙を見つめる探究の旅」(一般向け)

期間：令和7年10月4日～12月7日

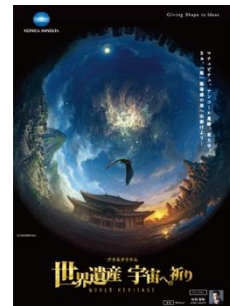
内容：古代の神話宇宙観から始まり、宇宙の観測技術の歴史と天文学の発展を、現地ロケで撮影された臨場感のある全天周映像やCG映像で放映している。



「世界遺産 宇宙への祈り」(一般向け)

期間：令和7年12月20日～令和8年3月31日

内容：空中都市マチュピチュ、アンコール遺跡、東大寺大仏殿、3つの世界遺産を、CG技術を駆使して没入感たっぷりの全天周映像で再現している。



・ その他の投映番組

「剣の山」(立山黒部ジオパーク映画・通年投映)

「今夜の星空と3D宇宙体験」(職員生解説番組・通年投映)

・ 学習投映

小・中学校の理科教育の一環として、小学4年・中学3年を対象に学習指導要領に基づいた番組を職員の生解説で投映した。投映に先立ち事前研修会を開催し、現場の先生方の意見や要望を直接お聞きする機会を設け、内容の充実に努めた。

小学4年の投映は、黒部市・入善町・朝日町・上市町の全ての4年生にご来館いただいた。特に近隣の小学校からは、夏だけでなく冬休み前、春休み前の3回に渡って来ていただき、学校休業期間中に子供たちに星を観察してもらうための予習としてプラネタリウムを活用してもらった。また、サイエンスショー(日常の科学)も併せて観覧する学校も多く、学習の場として幅広く科学館を利用していただいた。

- ・ プラネタリウムドームの多目的利用

例年行っている「熟睡プラネタリウム」「星兄のプラネタリウムショー」「七タナイトミュージアム」のほか、コラーレ・ワールドフェスティバルとの連携企画「カンボジアの星空と 3D 宇宙体験」の放映を行い、南天の星座やカンボジアに伝わる日食・月食の伝説を紹介した。また、「プラネタリウム貸切りプラン」では、天体写真の撮影練習といった個性的な利用方法も見られた。



② 講座・体験事業

- ・ 星空観察会等の実施

月1回の星空観察会のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。さらに星空を観察するだけでなく、「低緯度オーロラに備える！初心者向け撮影講座」や「スマホで星空が写ルンです！」等の講座を行い、市民科学の普及に努めた。

③ 調査研究事業

- ・ 全天周映像を用いたオリジナル番組制作

視覚や聴覚に障害のある方も健常者と共に体験できるユニバーサルデザインのプラネタリウム番組の開発を行なった。

障害の有無に関わらず観覧者全員に配布する触星図を立体コピー機で作成し、星座の形や、恒星までの距離、宇宙の歴史を手で触れることで理解できるように工夫した。触星図は新潟大学工学部渡辺研究室提供の星図を基に、文字やイラストを一部修正し作成した。また、耳の不自由な方への配慮として、全ての解説に字幕を付け、文字の色や大きさに変化をつけて読みやすい字幕となるようにした。

番組の制作には、星つむぎの村、仙台市天文台など、ユニバーサルデザイン天文教育において先進的な取り組みを行っている団体等にご意見をいただいた。さらに富山県視覚障害者福祉センター等にご協力いただき、実際に目や耳の不自由な方にサンプル版を視聴してもらい、そのご意見をもとにシナリオ内容や触星図デザイン、字幕の出し方に改修を重ねた。

また、同時開催した特別展「さわる！地球・宇宙展」と連携し、番組内で解説している星座（鷲・白鳥）の模型、竖琴の実物などを展示し、番組で解説された星座の元になった対象の形を触ってわかるような展示も行なった。

番組の開発については「八ヶ岳ユニバーサル研究会」で発表し、令和8年6月に開催される「国際プラネタリウム協会」でもポスター発表を行う予定である。



立体コピーで製作した触星図「星の地図」

- ・ **低緯度オーロラの撮影**

11月12日に富山県内から低緯度オーロラを撮影した。撮影した写真は、富山テレビ放送、北日本放送、チューリップテレビ、富山新聞、北日本新聞で取り上げられたほか、大阪府堺市のプラネタリウム施設（ソフィア堺）で展示された。



11月12日の低緯度オーロラ

- ・ **流星電波観測装置の設置と展示方法の考案**

昨年度のさわる！地球・宇宙展に合わせて、50 MHz 八木アンテナと、SDR ラジオ受信機を用いて、流星の電波観測（HR0）を開始した。流星を「音」で知るための展示として、特別展で展示したほか、会期後には常設展に移動させ、YouTube で音声のライブ配信を開始した。今後、流星電波観測国際プロジェクトへの協力や、データ解析を実施したい。



流星電波観測の展示の様子



流星電波観測用アンテナの展示風景

- ・ **「八ヶ岳ユニバーサル研究会」への協力**

日本天文教育普及研究会中部支部会および日本プラネタリウム協議会関東PWG主催の「八ヶ岳ユニバーサル研究会」の世話人として、研究会の運営に協力した。研究会では、障害の有無に関わらず楽しめるプラネタリウムの方法について、様々な発表があり、議論を深めることができた。また、天文教育関係者とプラネタリウム関係者のネットワーク構築の一助ともなった。

(4) 特別事業

① さわる！地球・宇宙展（7月18日～9月6日）

協力：富山県視覚障害者福祉センター、南谷 和範 氏（大学入試センター）、嶺重 慎 氏（京都大学名誉教授）、渡辺 哲也 氏（新潟大学）、あかり@あすとろ・えふ（3Dクリエイター）

特別展では、「さわる」をコンセプトとし、地球と宇宙の分野横断型展示として、資試料 55 点を展示した。展示は、基本的にハンズオン型の展示とし、自由に手に取って観察や体験をできるものとした。

目の不自由な方も体験できるようにするため、キャプションに点字を振ったほか、解説書も点字と墨字（UD デジタル教科書体）を用意し、壁にかけて手に取って読めるよう展示した。土日祝日には、地域学芸員による解説を行った。

目の不自由な方は、計 29 名観覧した。中には、東京や大阪などの遠方から来館する方も見られた。特に、大阪の団体「NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を」の方々は、「ふれて、みて、感じる宇宙」と一緒に本特別展を観覧し、好評であった（別添資料参照）。



展示の様子

② 企画展「石ころを読む」（11月15日～2月15日）

企画展は、石ころから地球に関する様々な情報を読んでみる展示として実施した。地球と岩石の関係だけではなく、岩石を身近なものと結び付けて展示するエリアや、岩石の基本的な分類である「火成岩」「堆積岩」「変成岩」についてそれぞれ展示するエリアを設けた。さらに、廊下には壁一面に地球断面の図を展示した。ジオガイド向けの解説会も行い、4 日間で計 36 人が参加した。



展示の様子

③ 科学館ウィーク☆2025

(11月15日～24日実施)

科学館の3つのコンセプトをテーマにイベントを開催した。期間中は、オリジナルプラネタリウムの特別投映や、ワークショップ、スタンプラリー、じゃんけん大会などを実施した。外部団体と連携しながら数多くのイベントを開催し、多くの来館者が訪れた。今後とも外部団体との連携を重視しながら開催したい。



じゃんけん大会の様子

④ 連携事情

コラーレ・ワールドフェスティバル「Earth Moving」(カンボジア)に合わせて、当館では「カンボジアの星空と3D宇宙体験」を行った。

他館からの展示やイベントへの協力依頼が多数あり、展示物の貸し出し等を行った。特に「天王寺動物園で学ぶSDGzoo」では、「さわる宇宙展」の出張展示として職員を派遣し、多くの目の不自由な方にも体験してもらうことができた。



天王寺動物園で展示の様子

日本黒部学会とは、研究紀要を共同発行したほか、巡検および研究発表会を共同で実施した。巡検は、白馬鍾ヶ岳の山岳ジオツアーとして2泊3日で行った。見学地の都合上、黒部学会やジオパーク協会関係者のみの参加となったが、現地で議論を行い、山岳ジオツアーの可能性を探った。研究発表会では、特別講演会1件(木戸瑞佳氏)、研究発表2件(石川、野寺)を行い、一般の方々にも学芸員の研究について聞いてもらうきっかけとなった。



研究発表会の様子

⑤ 課外授業の受け入れ

県内高等学校のフィールドワークの一環として、湧水コースとプラネタリウムコースの研修を実施した。湧水コースでは、愛本橋や墓ノ木自然公園、杉沢の沢スギ他を巡りながら水質調査等を行った。プラネタリウムコースでは、グループごとにテーマを決めて番組制作と成果発表を行ない、後半は天体望遠鏡の操作を実習した。普段の授業では得られない体験に、生徒らは興味を持って取り組んでいた。



授業の様子

⑥ インターネットを使った動画配信

「七夕講演会」（視聴回数：381 回）、特別展連携講演会「さわって知る太陽系調査～生命の起源を探る～」（視聴回数：134 回）、ジオパーク体験講座「富山湾でわかる！地球の“丸さ”」（視聴回数：186 回）、「流星電波観測」（24 時間配信中）のインターネット配信を行なった。



ジオパーク体験講座のライブ配信画面

⑦ 事務局運営

・ 職員研修

2026 年 2 月末に当館において研修を行った。今年は、「誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民共につくる」の方針に基づき、障害や難病のために博物館に足を運びにくい方々との接し方を学んだ。

2 月 25 日：富山県視覚障害者福祉センター所長 高島 豊氏に依頼し、見えにくい方との接し方の講義、歩行支援の実習をしていただいた。



見えにくい方を案内する実習の様子

2 月 27 日：星つむぎの村の古川結莉奈氏・古川綾子氏に依頼し、医療的ケア児である結莉奈さんがチャレンジしている星空案内人や天文字宙検定のお話しを聞いたあと、結莉奈さんにメタバースの案内をしていただいた。

そのほか、職員間での研究発表会や、黒部市上下水施設見学、「令和 6 年度改正の障害者差別解消法」に関する動画視聴を行った。



黒部市浄化センター見学の様子



メタバース体験の様子

令和6～7年度 研究実績報告

▼学会・研究集会での発表(令和6年度)

	発表内容(著者, 年, 演題, 会合名, 場所, 発表年月, 発表形式)
[1]	野寺凜, 2024, 立山黒部ジオパークを題材とした映像教材の有効性:理解度と興味の度合いに着目した分析, JpGU Meeting 2024, 千葉県千葉市 幕張メッセ, 2024年5月, ポスター
[2]	國香正稔・野寺凜, 2024, 地球の丸さを感じよう『Eパイクでしんきろう!』 3館連携、アート × 自然 × 科学 × スポーツ, JpGU Meeting 2024, 千葉県千葉市 幕張メッセ, 2024年5月, ポスター
[3]	國香正稔・野寺凜・中瀬公子・佐藤真樹・尺戸智佳子・山下麻衣・小林直人, 2024, 「富山湾に沈む夕日」と地表の曲率, 第38回天文教育研究会, 福井県福井市 ハピリン, 2024年8月, 口頭
[4]	野寺凜・樋口真理子・佐々木彩香・國香正稔, 2024, 科学館・美術館・図書館での連携事業の実施～宮沢賢治を軸とした企画の事例～, 第38回天文教育研究会, 福井県福井市 ハピリン, 2024年8月, 口頭
[5]	野寺凜・鈴木康史・臼田・佐藤功美子・南谷和範・渡辺哲也・嶺重慎, 2024, 3D プリンターで製作された天体模型の視覚障害教育利用, 第38回天文教育研究会, 福井県福井市 ハピリン, 2024年8月, ポスター
[6]	野寺凜, 2024, 岩石標本作成ワークショップの開発～GISソフトで簡略化させた地質図を用いた事例～, 第14回日本ジオパーク全国大会下北大会, 青森県むつ市 しもきた克雪ドーム, 2024年8月, ポスター
[7]	野寺凜, 2024, ジオパーク巡回展 地球時間の旅 事例紹介, 第14回日本ジオパーク全国大会下北大会(青森), 青森県むつ市 しもきた克雪ドーム, 2024年8月, ポスター
[8]	野寺凜, 2024, 立山黒部ジオパークを題材とした全天周映像の有効性, JPA北陸プラネタリウムWG令和6年度第1回研修会(富山), 2024年11月, 口頭
[9]	村井彰・野寺凜, 2024, ウェルカム投映・特別展案内, JPA全国研修会 オプショナルツアー(黒部), 2024年12月
[10]	村井彰, 2025, 事例発表「ご当地キャラを活用したオリジナル番組制作」, JPA北陸プラネタリウムWG 令和6年度第2回研修会(黒部), 2025年2月, 口頭
[11]	野寺凜, 2025, 話題提供「プラネタリウム館のUD対応について」, JPA北陸プラネタリウムWG 令和6年度第2回研修会(黒部), 2025年2月, 口頭

▼執筆(令和6年度)

	発表内容(著者, 年, 出版物名, 巻(号), ページ, 種別)
[1]	野寺凜・不破光大, 2024, ジオパーク体験講座「生地の魚に親しもう」で捕獲された特定外来生物のカダヤシについて, 日本黒部学会研究紀要「黒部」, 28, 3-4. 報文

▼講演・講師派遣依頼(令和6年度)

	講演内容(実施者, 演題等, 会合名および依頼者等, 実施年・月)
[1]	村井彰, プラネタリウム学習投映研修会, 黒部市中学校理科部会, 2024年6月
[2]	長谷川憲二, 「名水の里 くろべこども自然体験村」地域観光ギャラリー解説, くろべ都市農村交流実行委員会, 2024年8月
[3]	村井彰・野寺凜, 「名水の里 くろべこども自然体験村」星空解説, くろべ都市農村交流実行委員会, 2024年8月
[4]	村井彰, 高等学校フィールドワーク (プラネタリウム番組制作コース), 富山県立入善高等学校, 2024年8月
[5]	長谷川憲二, 高等学校フィールドワーク (湧水コース), 富山県立入善高等学校, 2024年8月
[6]	村井彰, 富山県ナチュラリスト協会 研修会, 富山県ナチュラリスト協会, 2024年9月
[7]	野寺凜, 富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」コース, 富山市民学習センター, 2024年10月
[8]	長谷川憲二, 「地下水の守り人」養成講座, とやま環境財団, 2024年10月
[9]	野寺凜, 魚津市立道下小学校 PTA行事(秋の星空について解説), 魚津市立道下小学校, 2024年11月
[10]	長谷川憲二, 「総合的な学習の時間」への協力(清水巡り), 黒部市立村椿小学校, 2024年11月
[11]	村井彰, 「ふれよう! 新川ー魅力体験ー」, 県民カレッジ新川地区センター, 2024年11月
[12]	野寺凜, 名水の里「黒部」の恵みと幻の瀧を味わう会, 日本橋とやま館(東京), 2024年11月

▼学会・研究集会での発表(令和7年度)

[1]	野寺凜, 2025, 立山黒部ジオパークを題材とした映像教材の有効性:感想と理解度の関係についての分析, JpGU Meeting 2025, 千葉県千葉市 幕張メッセ, 2025年5月, ポスター
[2]	野寺凜, 2025, 視覚の有無に関わらず体験可能な特別展の実施:主に3Dプリンターによる天体や宇宙機の模型を用いた事例, JpGU Meeting 2025, 千葉県千葉市 幕張メッセ, 2025年5月, ポスター
[3]	國香正稔・野寺凜, 2025, 「富山湾に沈む夕日」とその活用, JpGU Meeting 2025, 千葉県千葉市 幕張メッセ, 2025年5月, ポスター
[4]	野寺凜・嶺重慎・南谷和範・渡辺哲也, 2025, 3Dプリンターで製作された天体模型を用いたワークショップの開発～視覚のみに頼らない教材を目指して～, 第39回天文教育研究会, 神奈川県横浜市 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2025年8月, ポスター
[5]	野寺凜, 2025, 富山県内で撮影された低緯度オーロラ写真の活用, 第39回天文教育研究会, 神奈川県横浜市 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2025年8月, 口頭
[6]	Ishikawa, A., Zheng, W., Imai, T., Hattori, S., Shibata, M., Kawabe, S., and Jin, X, 2025, Cranial Anatomy of <i>Psittacosaurus houi</i> , a long-Snouted Psittacosaurid from the Lower Cretaceous Lujiatun Unit of the Yixian Formation, China, with a Reevaluation of the Synonymy of <i>Hongshanosaurus</i> , 第6回アジア恐竜国際シンポジウム, 福井県吉田郡永平寺町 福井県立大学 永平寺キャンパス, 2025年9月, ポスター
[7]	野寺凜, 2026, 包摂的な博物館づくりに資するデジタルアーカイブの活用方法, デジタルアーカイブ学会第10回研究大会, 東京都千代田区 一橋講堂, 2026年1月, 口頭
[8]	野寺凜, 2026, 黒部市吉田科学館の活動紹介, 天文教育普及研究会2025年度中部支部会, 長野県富士見町 川崎市八ヶ岳少年自然の家, 2026年3月, ポスター
[9]	野寺凜, 2026, 火星の地形模型を使った触察体験, 天文教育普及研究会2025年度中部支部会, 長野県富士見町 川崎市八ヶ岳少年自然の家, 2026年3月, 口頭
[10]	帯刀理恵子・村井彰・野寺凜・滝沢卓・石川亜郷, 2026, さわれる星図や読みやすい字幕などの工夫を凝らした、体験型プラネタリウム番組の開発, 天文教育普及研究会2025年度中部支部会, 長野県富士見町 川崎市八ヶ岳少年自然の家, 2026年3月, 口頭
[11]	石川亜郷, 2026, 鳥の神経から恐竜の神経を探る, 令和7年度日本黒部学会研究例会, 富山県黒部市 黒部市吉田科学館, 2026年3月, 口頭
[12]	野寺凜, 2026, 黒部市最高峰「白馬鍾ヶ岳」の話, 令和7年度日本黒部学会研究例会, 富山県黒部市 黒部市吉田科学館, 2026年3月, 口頭

▼講演・講師派遣依頼(令和7年度)

[1]	村井彰・野寺凜, 天体望遠鏡 組立て操作実習, とやま環境財団, 2025年5月
[2]	長谷川憲二, 地域観光ギャラリー解説, 2025年4月～11月
[3]	野寺凜, 学芸員の仕事と社会人ドクターという選択肢, 富山大学都市デザイン学部地球システム科学科 基礎セミナー, 2025年6月
[4]	野寺凜, 吉田科学館の活動紹介～市民科学を目指して～, 第7回「学芸員の放課後活動」富山県ミュージアムズネット主催, 2025年7月
[5]	野寺凜, こどもまんなか教室「めざせ! 石ころ博士」, 富山県生涯学習カレッジ新川地区センター, 2025年7月
[6]	石川亜郷, 教師力向上支援事業派遣研修「立山黒部ジオパーク内の古生物について」, 黒部市吉田科学館, 2025年8月
[7]	長谷川憲二・村井彰, 高等学校フィールドワーク(湧水コース・プラネタリウム番組制作コース), 富山県立入善高等学校, 2025年8月
[8]	長谷川憲二, 「総合的な学習の時間」への協力(清水巡り), 黒部市立村椿小学校, 2025年10月
[9]	野寺凜, 「天王寺動物園で学ぶSDGzoo」での「さわる地球展」の出張展示と解説, 毎日新聞社大阪営業部(大阪), 2025年11月
[10]	野寺凜, 黒部の地形・地質と名水, 「とやまテロワールベジ」の拡大に向けたワークショップにおける講演 富山県農林水産部農林水産課, 2026年2月

令和7年度 その他の連携事業

▼他施設・外部団体への事業協力

月日	内容	担当職員	主催
7/25-11/24	企画展「黒部川扇状地 太古の暮らし-縄文時代を中心に-」展示製作協力	野寺	黒部市歴史民俗資料館
7/19-10/5	企画展「雨-恵みと脅威-」展示物貸与	野寺	立山カルデラ砂防博物館
7/19-8/24	前期特別企画展「立山を描く-山に向けられたまなざし-」展示物貸与	野寺	立山博物館
9/13	「星空クイズラリー」へのクイズ内容の提供	村井	KAYA DO!フリー実行委員会
10/5	「ノールックみゅーじあむ(横浜市)」への展示物貸与	野寺	Curascopium
11/8	「科学ヘジャンプ(宮城教育大)」への展示物貸与	野寺	Curascopium
11/16	「天王寺動物園で学ぶSDGzoo」への展示物貸与	野寺	毎日新聞社
12/11	神奈川県立盲学校でのイベントへの展示物貸与	野寺	星つむぎの村
1/10-1/12	「星空合宿」への展示物貸与	野寺	星つむぎの村
2/7-3/1	企画展示「MMX展」への展示物貸与	野寺	東大和市立郷土博物館
3/2	筑波大学附属視覚特別支援学校での天文講座への展示物貸与	野寺	Curascopium
3/8-3/10	日本天文教育普及研究会中部支部会 「八ヶ岳ユニバーサル研究会」の世話人	野寺	日本天文教育普及研究会 中部支部

▼連携事業(イベント等)

月日	内容	連携団体
7/20-9/1	黒部市6館スタンプラリー	黒部市博物館等施設連絡協議会
10/7-10/9	山の巡検「白馬鑓ヶ岳」	日本黒部学会
3/8・3/15	プラネタリム「カンボジアの星空と3D宇宙体験」	黒部市国際文化センター コラーレ
3/22	科学館の研究発表会！2026（令和7年度日本黒部学会研究例会）	日本黒部学会

▼教職員・学生研修受入

期間	研修名	人数
8/3-8/4	令和7年度中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修	1名受入

令和7年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業

※自／共…自主事業、共催事業の略

事業名		期間	自/共	内 容	令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績		前年比
講座 体験学 習事 業	工作教室	通年	自	工作教室(学校行事等の利用)	20回	397人	11回	283人	12回	274人	96.8%
		2/21	自	折り紙ヒコーキ工作教室&競技会	1回	57人	1回	57人	1回	59人	103.5%
		通年	共	黒部少年少女発明クラブ	19回	190人	18回	186人	18回	180人	96.8%
	サイエンスショー	通年	自	もののふしぎ／水のふしぎ／熱のふしぎ／力と運動のふしぎ	269回	4,139人	276回	3,991人	277回	4,462人	111.8%
	プログラミング	8/9・10・23	自	プログラミング体験教室	5回	43人	3回	25人	3回	22人	88.0%
		3/28・29	自	星空プログラミングin黒部	2回	10人	2回	26人	2回	22人	84.6%
		通年	共	CoderDojo黒部	24回	386人	23回	346人	22回	296人	85.5%
展 示	展 示	6/28～7/6	共	魚津地区・理科自由研究・発明くふう参考展	1回	868人	1回	545人	1回	1,041人	191.0%
		9/12～9/23	共	黒部市少年少女発明くふう展	1回	882人	1回	1,160人	1回	1,118人	96.4%
		9/27～10/7	共	黒部市小・中学校児童生徒科学作品展覧会	1回	744人	1回	862人	1回	753人	87.4%
令和5年度/令和6年度				あこやへのDE体験の風をおこそう！(あこやへの主催)		2回	271人				
				プログラミング教室				1回	2人		
				ドローンをとばしてみよう				1回	28人		
のべ利用者数合計						7,987人		7,511人		8,227人	109.5%

地域の科学対象事業

事業名		期間	自/共	内 容	令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績		前年比
講座体験学習事業	ジオパーク関連事業	7/27	自	ジオパーク体験講座「石ころ鑑定にチャレンジ」	3回	54人	1回	30人	2回	41人	136.7%
		8/3・10	自	ジオパーク体験講座「生地の魚を観察しよう」	2回	39人	2回	47人	2回	35人	74.5%
		2/2	自	ジオパーク体験講座「黒部の雪を楽しもう」	1回	7人	1回	14人	1回	11人	78.6%
		11/22	自	フィールドウォッチング「吉田川で野鳥を観察しよう」	2回	9人	1回	7人	1回	10人	142.9%
		通年	自	岩石・鉱物標本公開	3回	15人	6回	20人	5回	17人	85.0%
		通年	自	ジオ&みずはくツアー2025	5回	77人	5回	88人	5回	84人	95.5%
		9/27	自	黒部川調査隊	1回	4人	1回	9人	1回	4人	44.4%
		10/13	自	ヒスイ海岸で化石を探そう					1回	25人	—
		6月～8月	共	くろべ水の少年団	6回	133人	6回	111人	6回	106人	95.5%
展示事業	常設・企画展等	10/25～11/9	共	環境写真展「すばらしい自然を…」	1回	1,960人	1回	1,046人	1回	763人	72.9%
		2/28～3/29	共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	1回	1,633人	1回	1,626人	1回	1,767人	108.7%
				ジオパーク体験講座「昆虫標本を観察しよう」	2回	19人					
		令和5年度/令和6年度				1回	5人				
						1回	8人				
のべ利用者数合計						3,950人		3,011人		2,863人	95.1%

宇宙の科学対象事業

事業名		期間	自/共	内 容	令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績		前年比
プラネタリウムドーム事業	プラネタリウムの放映			一般放映および学習放映など(放映日数:277日) (大人:7,461人 高校・大学生:255人 子供:7,503人 合計:15,219人) 個人:11,493人／団体:3,726人 124団体	679回 孫 観覧料	14,232人 155,100円 1,349,610円	666回 孫 観覧料	14,005人 136,800円 1,363,320円	710回 孫 観覧料	15,219人 164,100円 1,551,700円	108.7% 120.0% 113.8%
					計	1,504,710円	計	1,500,120円	計	1,715,800円	114.4%
		通年	自	◆一般放映		13,156人		12,989人		14,262人	109.8%
		通年	自	子ども番組	333回	8,318人	257回	7,927人	207回	7,116人	89.8%
		通年	自	科学番組	105回	1,216人	108回	1,317人	181回	2,251人	—
		通年	自	オリジナル番組			44回	395人	133回	2,432人	615.7%
		通年	自	オリジナル再番組	94回	1,656人	111回	1,203人	41回	401人	33.3%
		通年	自	職員生解説番組	67回	1,313人	62回	1,209人	61回	1,202人	99.4%
		通年	自	立山黒部ジオパーク映画「剣の山」	43回	468人	51回	623人	50回	540人	86.7%
		通年	自	貸切プラネ	4回	19人			4回	8人	—
	11/15～16	自	オリジナルプラネタリウムフェスティバル	6回	166人	8回	315人	8回	312人	99.0%	
	通年	自	◆学習放映(小学4年生)	22回	696人	20回	673人	21回	599人	89.0%	
	通年	自	◆学習放映(中学3年生)	4回	349人	5回	343人	4回	358人	104.4%	
	プラネタリウムの多目的利用	11/16	自	星と音楽のタベ	1回	51人			1回	28人	—
		11/23	自	熟睡プラ寝たリウム	2回	58人	1回	74人	1回	78人	105.4%
3/14・21		自	カンボジアの星空と3D宇宙体験					2回	48人	—	
3/20		自	爆笑！星兄プラネタリウムショーin黒部	2回	241人	2回	243人	2回	293人	120.6%	
天文普及事業	第3土曜日	自	星空観察会	12回	297人	13回	327人	12回	281人	85.9%	
	8/2	自	初めての天体望遠鏡教室	1回	31人	1回	22人	1回	22人	100.0%	
令和5年度/令和6年度			幼児放映	1回	31人						
			ベビーといっしょにほしぞらさんぽ	1回	68人						
			星空トロッコ	1回	37人						
			癒やしのプラネタリウム	1回	38人						
			宮沢賢治が見た星空			1回	58人				
			名水の里くろべこども自然体験村(黒部市)	1回	76人	1回	60人				
のべ利用者数合計						15,129人		14,789人		15,969人	108.0%

特別行事など

事業名	期間	自/共	内 容	令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績		前年比
特別展	7/19～9/7	自	さわる！地球・宇宙 展					1回	6,220 人	－
企画展	11/15～2/15	自	石ころを読む					1回	5,270 人	－
講演会	5/10	自	低緯度オーロラに備える！初心者向け撮影講座					1回	7 人	－
	7/5	自	七夕ナイトミュージアム～七夕講演会＆星と音楽のタベ～			1回	149 人	1回	165 人	110.7%
	7/21	自	特別講演会「山ってなんでできるの？～年代測定と沢登りの視点から～」					1回	42 人	－
	8/30	自	特別展連携講演会「さわって知る太陽系探査～生命の起源を探る～」					1回	15 人	－
研究発表会	3/22	共	科学館の研究発表会！2026					1回	20 人	－
クイズラリー	～6/30	自	プラネタリウム100周年記念 クイズラリー					1回	934 人	－
GWイベント	5/3	共	魔法のストラップづくり					1回	262 人	－
	5/3・5	自	化石を探そう					2回	71 人	－
	5/4	自	傘袋ロケットをつくろう			2回	162 人	1回	118 人	72.8%
	5/4	共	六角パズルをつくろう			1回	19 人	1回	83 人	436.8%
	5/5	共	太陽を観察しよう			1回	76 人	1回	294 人	386.8%
	5/5	共	オリジナルリングをつくろう					1回	398 人	－
	5/6	共	黒部峡谷鉄道トロッコ電車ワークショップなどの体験			1回	100 人	1回	106 人	106.0%
お盆イベント	8/14	自	特別展連携工作「小惑星リュウグウの石こう模型をつくろう」					1回	57 人	－
	8/15・16	自	リングヒコークィをつくろう					2回	177 人	－
	8/17	共	プラ板ストラップづくり					1回	183 人	－
工作	8/3	共	青少年のための科学の祭典 第31回おもしろ科学実験in富山	1回	688 人	1回	132 人	1回	45 人	34.1%
その他	9/13	共	KAYADOフリー 星空Watching					1回	103 人	－
	9/20・21	共	くろべフェア					2回	73 人	－
	10/18	共	立少フェスティバル	1回	150 人	1回	53 人	1回	30 人	56.6%
科学館ウィーク	11/15	自	化石のレプリカをつくってみよう					1回	129 人	－
	11/15	共	この木何の木？木の名れをつくろう！	1回	18 人	1回	27 人	1回	19 人	70.4%
	11/22	共	太陽を観察してみよう！			1回	68 人	1回	73 人	107.4%
	11/22	共	ボルト締め体験					1回	30 人	－
	11/23・24	共	ペットボトルキャップケーキづくり					2回	300 人	－
	11/24	自	じゃんけん大会	1回	124 人	1回	135 人	1回	122 人	90.4%
	11/15～24	自	わくわくスタンプラリー	1回	388 人	1回	443 人	1回	429 人	96.8%
令和5年度/令和6年度			企画展「すごい火山展」	2回	9,698 人					
			企画展連携講座「わくわく！キッチン火山実験」	1回	32 人					
			全国科学館連携協議会巡回展示「かるたでよみとくわたしと世界のつながり」	1回	5,125 人					
			講演会「たなばたのよるに」星空の彼方への憧れ	1回	80 人					
			講演会「富山の火山研究の最前線」	1回	39 人					
			カップゴマをつくろう	2回	277 人					
			竹の知恵の輪をつくろう	1回	84 人					
			星座早見盤をつくろう	1回	69 人					
			ミニプラネタリウムをつくろう	1回	90 人					
			プラ板ストラップづくり	2回	217 人					
			くろべフェア ジオサイエンスショー「火山のふしぎ」	1回	20 人					
			くろべフェア 展示ブース	1回	171 人					
			特別講演会「プラネタリウムは宇宙への窓」	1回	30 人					
			プラネタリウム操作してみる？	2回	39 人					
			特別講演会「関東大地震から100年巨大地震列島の今を知る」	1回	17 人					
			ウェルカムプレートづくり	2回	447 人					
			平野の巡検「上市町稲村の海底地すべり堆積物」	1回	7 人					
			黒部川・水のコンサート&フェスティバル	1回	100 人					
			星空プログラミングin黒部	2回	10 人					
			ジオパーク巡回展 地球時間の旅			1回	5,385 人			
			特別展 さわる宇宙 展			1回	5,524 人			
			惑星地形にさわろう			1回	29 人			
			JAFイベント	1回	435 人	3回	167 人			
			割りばしハガキグライダーで遊ぼう	2回	322 人	1回	103 人			
			オリジナル石けんづくり			2回	194 人			
			惑星キーホルダーづくり			2回	304 人			
			石ころマップをつくろう			1回	48 人			
			特別講演会「とある学芸員の南極取材録」			1回	15 人			
			E-Bikeでしんきろう！	1回	5 人	1回	7 人			
			さわって知るブラックホール			2回	50 人			
			紫外線ストラップをつくろう			1回	40 人			
			JAF子ども安全免許証をつくろう！			1回	127 人			
			オリジナルバスボムづくり	2回	447 人	2回	742 人			
のべ利用者数合計					19,129 人		14,099 人		15,775 人	111.9%

その他

事業名	期間	自/共	内 容	令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績		前年比
その他			各部屋の利用等		3,039 人		6,824 人		8,279 人	121.3%
のべ利用者数合計					3,039 人		6,824 人		8,279 人	121.3%

オンライン事業 視聴回数報告

実施年度	内 容	視聴回数	合計
令和7年度	流星電波観測ライブ配信	配信中 回	782 回
	9/20 「富山湾でわかる！地球の丸さ」	265 回	
	8/30 企画展連携講演会ライブ中継	135 回	
	7/5 七夕講演会ライブ中継	382 回	
令和6年度	7/6 七夕講演会ライブ中継	135 回	285 回
	オーロラ映像公開	150 回	
令和5年度	7/8 七夕講演会ライブ中継	181 回	181 回
令和4年度	11/6 皆既月食ライブ中継	1,527 回	1,941 回
	7/7 七夕講演会ライブ中継	414 回	
令和3年度	天文教室ライブ中継(2回)	2,350 回	2,707 回
	サイエンスショー紹介動画(9本)	357 回	
令和2年度	剣の山無償公開	13,230 回	14,821 回
	オリジナルプラネタリウム番組無償公開	178 回	
	科学館紹介動画公開(3本)	373 回	
	サイエンスショー紹介動画(4本)	1,040 回	
のべ利用者数合計			20,717 回

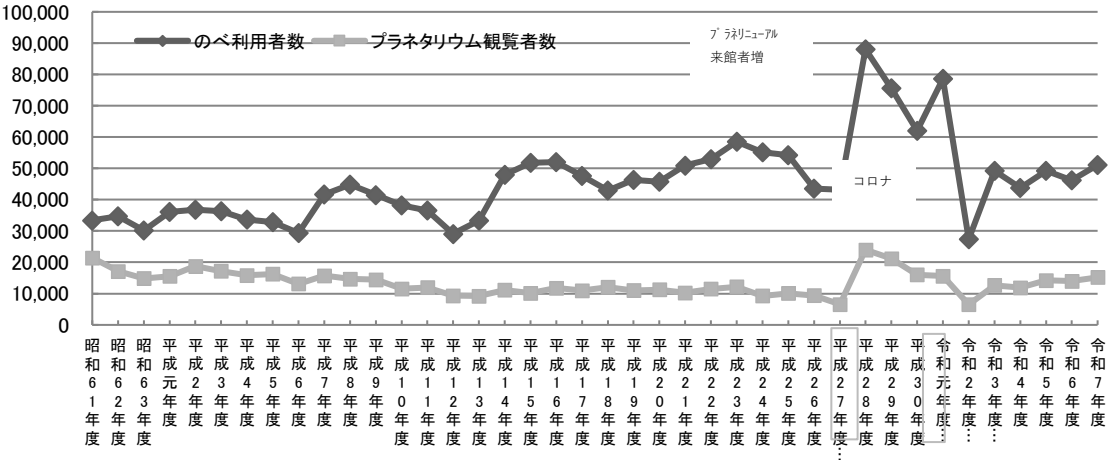
各年度利用者数比較

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	前年比
日常の科学対象事業	6,953 人	7,302 人	7,977 人	7,511 人	8,227 人	109.5%
地域の科学対象事業	7,054 人	6,366 人	3,950 人	3,011 人	2,863 人	95.1%
宇宙の科学対象事業	13,103 人	12,894 人	15,129 人	14,789 人	15,969 人	108.0%
特別事業	19,864 人	13,507 人	19,129 人	14,099 人	15,775 人	111.9%
その他事業	2,283 人	3,657 人	3,039 人	6,824 人	8,279 人	121.3%
のべ利用者数計	49,257 人	43,726 人	49,224 人	46,234 人	51,113 人	110.6%
カウンター数 (来館者数)	17,833 人	19,230 人	22,865 人	22,347 人	24,348 人	109.0%

年度別のべ利用者数・観覧料

令和8年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
平成29年度	75,630 人	21,182 人	2,178,210 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
令和3年度(8/18～9/13・1/24～2/28プラネタリウム休止)	49,257 人	12,667 人	1,306,770 円
令和4年度	43,726 人	11,874 人	1,182,080 円
令和5年度	49,224 人	14,232 人	1,504,710 円
令和6年度	46,234 人	14,005 人	1,500,120 円
令和7年度	51,113 人	15,219 人	1,715,800 円
合 計	1,832,596 人	536,194 人	63,174,240 円
令和6年度	46,234 人	14,005 人	1,500,120 円
令和7年度	51,113 人	15,219 人	1,715,800 円
前年度比	110.6 %	108.7 %	114.4 %



▼行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和7年6月28日	富山県知事	令和6年度事業報告及び収支決算届
令和7年8月6日	富山県知事	評議員及び理事の変更届
令和8年3月31日	富山県知事	令和8年度事業計画及び収支予算届

▼登記事項

登記記録に関する事項(役員の変更登記)

役職・氏名	就任もしくは退任日	登記変更日
評議員 熊野 勝巳	令和7年6月24日退任	令和7年7月4日登記
評議員 大久戸 久雄	令和7年6月24日退任	令和7年7月4日登記
評議員 河田 勇	令和7年6月24日就任	令和7年7月4日登記
評議員 八尾 隆夫	令和7年6月24日就任	令和7年7月4日登記
理事 中 義文	令和7年6月24日辞任	令和7年7月4日登記
理事 齊藤 誠	令和7年6月24日就任	令和7年7月4日登記

▼評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和7年6月24日	1 令和6年度事業報告及び収支決算について 2 理事の辞任に伴う補欠選任について 3 監事の任期満了に伴う選任について	評議員3名のうち3名出席 議案について全員一致で承認

▼理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和7年6月5日	1 令和6年度事業報告及び収支決算について 2 令和7年第1回評議員会の開催について 3 令和7年評議員選定委員会の外部委員の選任について	役員(理事9名、監事2名)の内、 理事8名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和8年3月24日	1 令和8年度事業計画及び収支予算について	役員(理事9名、監事2名)の内、 理事9名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認

▼公益目的事業の実施状況

公益目的事業の実施状況は、令和7年度事業報告の2頁から21頁に記載しているとおりである。

▼運営体制の充実を図るための取組

1. 理事・監事・評議員の選任についての取組

当財団の役員選任について、地域に精通した方、企業経営に精通した方や教育関係の方、科学に関わる方など、広い視点で当財団への指導、助言をいただけるよう選任されている。

2. 理事・監事・評議員への情報提供の取組

当財団が実施する各事業の開催にあたり、理事・監事・評議員へ案内チラシやパンフレット等を配布することで情報提供を行っている。